

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	きりしま	事業所番号	4510201405
住 所	宮崎県都城市下長飯町669-3	管理者名	池崎 眞樹
電話番号	0986-70-0190	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>都城市下長飯町669-3 R2.1月～R3.3</p> <p>【実施した生産活動・施設外就労の概要】</p> <p>宮丸商店様の弁当に使用する野菜の下拵え コロッケ作り・肉切り</p> <p>【利用者数 等】 5名</p>	<p><活動の様子></p> <p>【唐揚げ用鶏肉カット】 10kg～12kg (弁当やおかずの予約により変動あり)</p> <p>【ごぼうスライス】 4kg～6kg (手作業から機械導入により、時間等の短縮に成功。だが、機械で実施不可な大きさの物は手作業にて実施)</p> <p>【コロッケ形成】 ジャガイモ3kg～3.3kg、玉ねぎ、ひき肉 毎日40個～45個を納品 形成の際、1個当たりのg、形も決まっているため、時間を要する。</p>
<p><目的></p> <p>【地域連携活動のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある弁当事業者との連携を行うことで、食に関係する就労の幅を広げる。 <p>【地域にとってのメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症による店舗での人手不足により、下ごしらえを担うスタッフの減少があり、相談を受けていた。作業による負担も少なかったため、連携を図ることとなった。 <p>【対象者にとってのメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜から土曜日までの3時間程度の作業であり、利用者全員が作業可能である。また、弁当事業者との連携が行いやすい。利用者との協力と連携により、お弁当が完成されるため、利用者のモチベーションアップに繋がりがやすい。 	   
<p><成果></p> <p>【実施した結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業手順をルーティン化するまでに時間がかかった。 ・単純作業の部分は苦手なようで、定着するのに時間を要した。 ・流れを掴むと、準備から片付けまでがスムーズであり自分たちで進んで行うようになった。 <p>【課題点】・日によって、下ごしらえの物量の変化があり時間内に終わらせるために職員が手助けする場面が多くあった。</p>	<p>【人参・大根下ごしらえ】</p>  

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足ではあったが、頼めることになってとても助かった。 ・コロナ禍ではあったが、テイクアウト弁当の依頼が多く困っていたがとても助かっている。 			
<p>【今後の連携強化に向けた課題】</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・下拵えの食材の品数の増加(人参、大根(しりしり)・ごぼう(ささがき)・鶏肉(カット)) →(人参・大根(スライス、しりしり)・ごぼう・鶏肉・コロッケ形成・ニンニクの皮むき・など)、量も共に増加傾向であるため、仕事量の増加に伴う品質の保持・保存・指示や指導を考えながら実施している。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・他のお弁当屋さん(近隣2件)からも、下ごしらえ依頼があるが現状1件の下拵えで手一杯の状況である。作業切り取りを行いながら、他の施設(B型事業所)と連携を行って行ければと考える。 			
連携先企業名	野菜屋 宮丸商店	担当者名	坂本様